

第24回 都市政策研究交流会

総合的な都市戦略のためのツーリズム行政～多様な主体の連携による観光政策～
「宇都宮のブランド発掘・創造・発信プロジェクト」

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

宇都宮市経済部産業政策課
宇都宮サテライトオフィス
所長 黒崎 泰広





- 1974年** 栃木県宇都宮市生まれ
2000年 入庁 保健福祉部 介護保険課 【要介護度の認定など】
2003年 異動 行政経営部 人事課 【職員採用, 組織・定員管理など】
2007年 異動 総合政策部 地域政策室 【表参道スクエア開発, 宇都宮工業高校の移転など】
2008年 派遣 (株)栃木サッカークラブ派遣 【フロント業務全般, 地域貢献活動など】
2011年 総合政策部 地域政策室 【プロクラブ支援, 中心市街地活性化, 海外研修(ドイツ)など】
2014年 改編 経済部 観光交流課 都市魅力創造室 【国際スポーツイベント, インバウンドなど】
2017年 改編 経済部 都市魅力創造課 【国際スポーツイベントの誘致・開催, 大谷地域の振興策など】
2020年 異動 経済部 産業政策課 【東京への市サテライトオフィス設置】

産業・環境 & 魅力創造・交流の未来都市に向けて 2020年10月 虎ノ門にサテライトオフィスを新規開設



CIC Tokyoは 虎ノ門ヒルズビジネスタワー
15F & 16F 合計約6,000㎡に
日本最大級のイノベーションセンターを
2020年秋にオープンします (予定)

虎ノ門ヒルズビジネスタワー：2020年1月竣工 地上36階建

- ・災害時には中圧ガス発電機と非常用発電機により標準時の80%の電源供給
- ・風揺れや中小地震にも幅広く制振効果を発揮する5種類の制振装置装備



ビル直結

日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅
(2020年6月開通予定)

銀座線 虎ノ門駅
BRTバスターミナル
空港リムジンバス

徒歩5分
三田線 内幸町駅

徒歩10分
JR線 新橋駅



宇都宮市が人や企業から選ばれ将来にわたり持続的に発展するためには、東京圏から人や企業を呼び込み、本市企業の「稼ぐ力」を高める必要があることから、東京圏における交流・活動拠点である「宇都宮サテライトオフィス」を設置し、本市魅力を発信し、新たな関係を構築しながら、市内企業と東京圏企業との事業連携や、人や企業の誘致などに取り組む。



CIC creates **innovation ecosystems**
in city centers by bringing together a
 diverse mix of local & global organizations.



宇都宮サテライトオフィスがあるCIC TOKYOとは？
 “世界と繋がるイノベーションの発進基地”

- CIC (ケンブリッジ・イノベーション・センター)
 1999年に米国ケンブリッジにて創立
- イノベーションは社会の様々な問題を解決し、世界をより良く変革するという信念で20年以上イノベーターをサポート
- 産官学の垣根、産業や世代を越えた人々が繋がり、アイデアがぶつかり合い、新たなイノベーションを創出するハブ

本日の話題

宇都宮のブランド発掘・創造・発信プロジェクト



スポーツで魅せる (事例1)



石の里「大谷」で魅せる (事例2)



魅せるための仕組み (行政組織の整え方)

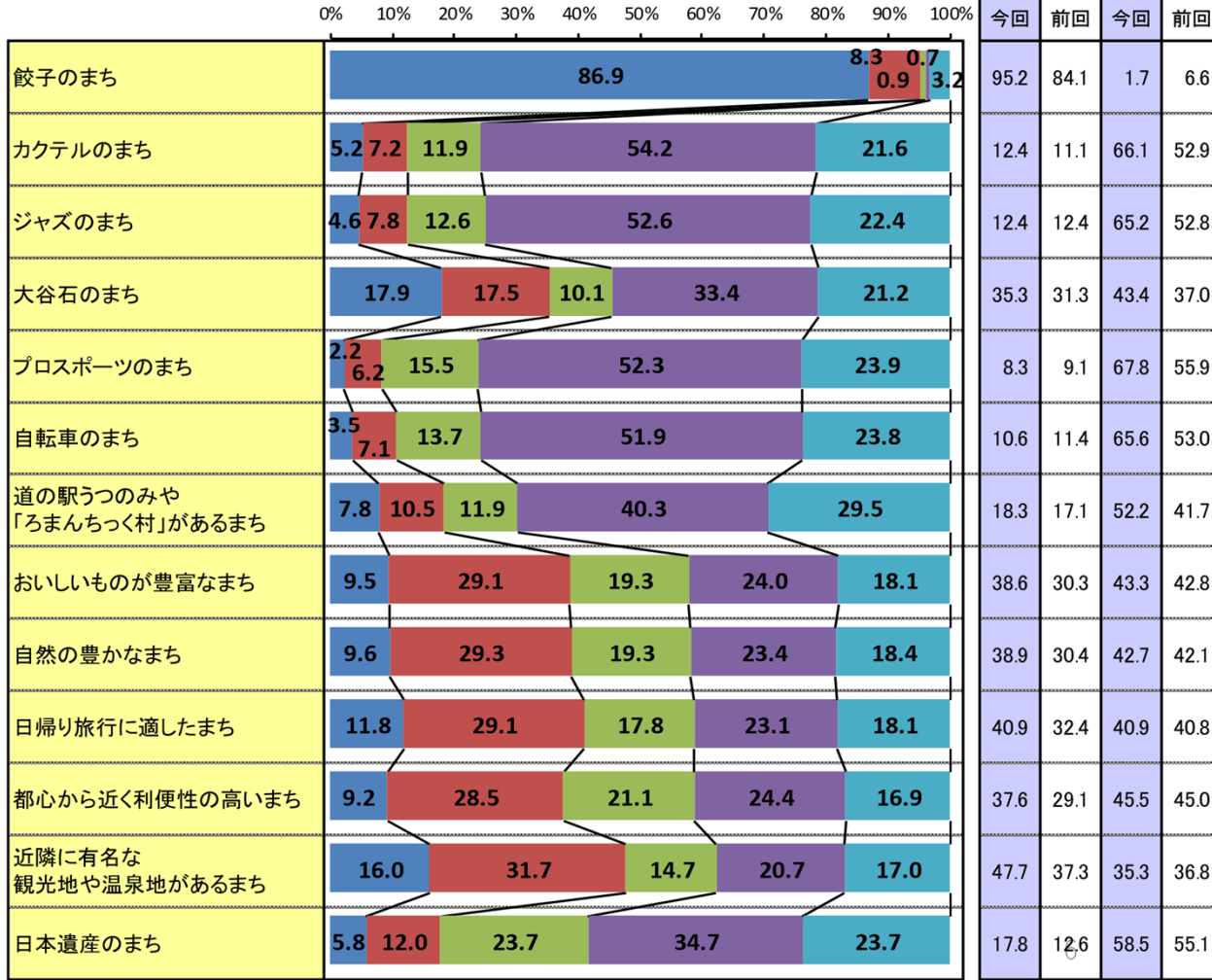
令和2年宇都宮市観光動態調査 宇都宮のイメージ調査



・「地域素材」とは、地域の自然や文化、産業、芸術、スポーツなど、歴史の長短はあっても地域の中で観光振興につながるとは思わずに積み上げられてきたものであり、これこそ、潜在的観光資源である。

・それを観光資源として再発見し、価値づけ、保全、整備、磨きあげる作業が、観光力という浮力を生み出すイメージである。「都市自治体におけるツーリズム行政 第2章より抜粋」

- イメージがある／そう思う
- どちらかといえばイメージがある／どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばイメージがない／どちらかといえばそう思わない
- イメージがない／そう思わない
- わからない



2050年人口50万人維持に向けた「まちづくりの好循環」のイメージ

輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや

6 つの未来都市づくりに取り組みます

1 「子育て・教育の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ 産前・産後のサポート体制の充実や子育てで仕事の両立支援の充実
- ▶ 学習支援や経済的支援など誰もが夢や希望の実現に向けて学び、活動できるようにするための支援の充実
- ▶ グローバル社会・情報社会を生き抜く力と郷土への愛情を育む教育の推進 など



夢を抱いてやり抜く心を持つ
宮っ子として、たくましく育ったみんなが、
大人になってほしい環境づくりを進めよう!

2 「健康・福祉の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ 市民一人一人の日常的な健康づくりや事業所と連携した健康づくりの推進
- ▶ 認知症対策や医療・介護の一体的な提供の推進、介護予防・生活支援の充実など、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる地域づくりの推進
- ▶ 障がいのある方への外出・移動支援の充実や公共交通における利便性の確保 など



みんながずっと健康で若年寄り
になってモ生きがいを持って生活できる
まちづくりを進めよう!

3 「安全・安心の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ 河川の整備やハザードマップの活用などによる河川のはらんなや浸水被害への対策
- ▶ ICT(情報通信技術)の活用による災害や危機に対する適切な情報発信と対応力の強化
- ▶ 外国人との相互理解の促進や女性が能力を発揮しやすい環境づくりなど、多様な生き方を尊重する社会の形成 など

地域のおみなさんの支え合いを
大切にして、いつも安心して生活
できる環境づくりを進めよう!



将来のうつのみや像(都市像)

輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや

4 「魅力創造・交流の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ 自転車や3×3(3人制バスケットボール)の国際大会の開催など、スポーツを活用したまちづくりの推進
- ▶ 日本遺産「大谷石文化」をはじめとする宇都宮ならではの資源の活用と魅力の発信
- ▶ 宇都宮の歴史、文化資源、芸術、伝統芸能などに触れる機会の充実
- ▶ 東京圏に転出した若者が宇都宮に戻るきっかけとなる取組の推進 など



まちの魅力を高めて、たくさんの人に
宇都宮へ訪れてもらい、
まちを元気にしていこう!



5 「産業・環境の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ 地域経済をけん引する産業の創出・育成と企業誘致・集積の推進
- ▶ 女性の市内企業への就職の促進など女性が働きやすい環境づくりの推進
- ▶ 中小企業のICT(情報通信技術)利活用の促進、会社経営の円滑な引き継ぎの推進
- ▶ 農業を支える担い手の確保・育成、農産物のブランド化の促進
- ▶ LRTのトランジットセンターへの省エネ・再エネ設備の導入など、LRT沿線の低炭素化の促進 など



みんなが働きたい環境に
やさしいまちづくりを進めよう!



それぞれの「未来都市」の取組をお互いに連動させて、
人づくりとまちづくりを一体的に進めることで
夜空に浮かぶ一番星のように輝き続ける都市を目指します。

6 「交通の未来都市」

こんなことに取り組みます

- ▶ JR宇都宮駅東口の整備や中心市街地の再開発などによる賑わいの創出
- ▶ 病院やスーパーなど日常生活で利用することの多い施設の身近な地域への誘導
- ▶ LRTの整備、バス路線の充実、交通ICカードの導入 など



LRTやバスなどの
公共交通を組み
合わせて、市内を
自由に移動できる
環境づくりを
進めよう!



- ・特に効果が高い先導的な取組
- ・複数の分野の連携が不可欠な横断的な取組
- ・他の分野への波及効果が高い取組



3つのまちづくり好循環プロジェクトを設定

まちづくり好循環プロジェクト(人口減少・人口構造の変化に対応するための3つのプロジェクト)

Project 1 輝く人の **和**

ネットワーク型コンパクトシティ(※)

「NCCが支える共生社会創出」プロジェクト

ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)の都市構造をいかに、市民の誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる社会を創出します。



「NCCが支える共生社会創出」プロジェクトのイメージ図



みんなが移動しやすく暮らしやすいまちに!

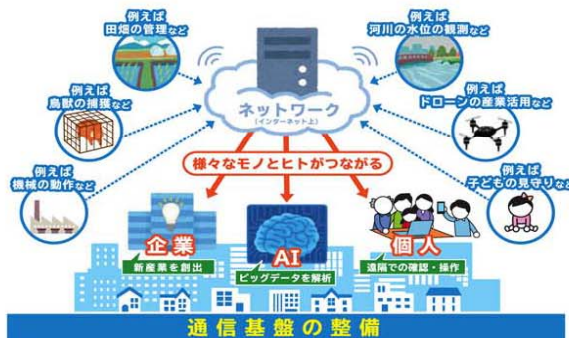
移動しやすくなって、お外に出ることが増えるから人もまちも元気に
なって◎みんなで支え合うまちって素敵でしょ!(*・^*)

5

Project 2 つながるまちの **環**

「ICTで暮らしもまちも元気」プロジェクト

「AI(人工知能)」、「ロボット」、「ドローン」などをはじめとするICT(情報通信技術)によって、市民の身近な暮らしの利便性向上や活力あるまちの形成を図ります。



「ICTで暮らしもまちも元気」プロジェクトのイメージ図



ロボットやドローンなどの最新技術でまちを元気に!

情報のネットワークがどんどん発展して、みんなの生活が便利に♪(≧▽≦)/
ロボットがまちの案内や地域の見守りをしてくれる日がくるかも!

6

Project 3 魅力と夢の **輪**

「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクト

市民が誇りを持って住み続けることができ、人や企業に選ばれるまちとなるよう、女性をはじめ、誰もが活躍できる社会を創出するとともに、宇都宮ブランドの発掘・創造・発信を推進します。



「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクトのイメージ図



宇都宮の魅力をPR みんながあこがれるまちへ!

みんな大好きな餃子(≧▽≦)新しい魅力がいっぱいの大谷♪
バスケットボール、自転車のプロチーム♪宇都宮をどんどん楽しんで、
みんなに自慢しちゃおう!

7

裏面を広く使ってください

Project 3 魅力と夢の

「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクト

市民が誇りを持って住み続けることができ、人や企業に選ばれるまちとなるよう、女性をはじめ、誰もが活躍できる社会を創出するとともに、宇都宮ブランドの発掘・創造・発信を推進します。



「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクトのイメージ図



宇都宮の魅力はPR みんながあこがれるまちへ!

みんな大好きな餃子(ノミヨミ)新しい魅力がいっぱいの大谷♪
バスケットボール、自転車のプロチーム♪宇都宮をどんどん楽しんで、
みんなに自慢しちゃおう!

宇都宮ブランドの 発掘・創造・発信

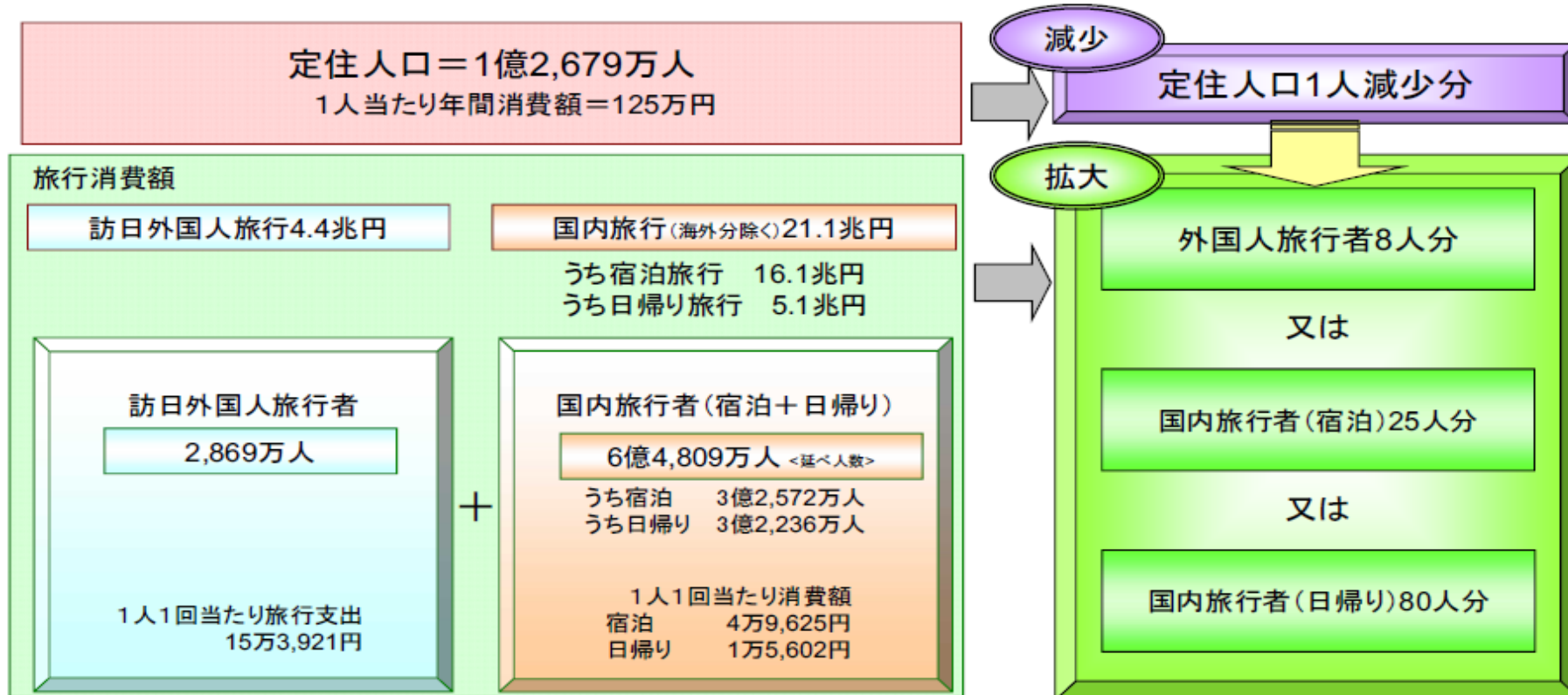


ヒトやモノの 交流の活性化

創造都市の
実現に向けて
大胆な集客交流策の
展開が必要となる。

観光交流人口増大の経済効果(2017年)(暫定値)

○定住人口1人当たりの年間消費額(125万円)は、旅行者の消費に換算すると外国人旅行者8人分、国内旅行者(宿泊)25人分、国内旅行者(日帰り)80人分にあたる。



定住人口は2017年7月1日現在人口推計(総務省)、定住人口1人当たり年間消費額は2017年家計調査(総務省)による。
旅行消費額の訪日外国人旅行は訪日外国人消費動向調査(2017年)より算出、国内旅行は旅行・観光消費動向調査(2016年)より算出。
訪日外国人旅行者はJNTO(2017年)発表数値、国内旅行者は旅行・観光消費動向調査(2017年)より算出。
訪日外国人旅行者1人1回当たり消費額は訪日外国人消費動向調査(2017年)、国内旅行者(宿泊/日帰り)1人1回当たり消費額は旅行・観光消費動向調査(2017年)より算出。
定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当たり年間消費額を訪日外国人旅行者又は国内旅行者1人1回当たり消費額で除したものである。(※観光庁資料)

[観光庁資料より抜粋]

⇒ 定住人口の維持 + 交流人口の拡大 = 都市の活力UP

3 リーディングプロジェクト

全国的な知名度を誇る本市の観光における最大の食資源「餃子」や、特異な景観を有する観光拠点である「大谷」、国際大会の開催など知名度やブランド力の向上に資する「スポーツ」といった、宇都宮のセールスポイントを最大限に活用し、施策・事業を横断的に結び付けた「リーディングプロジェクト」を設定することで、「観光交流未来都市」実現の加速化を図ります。

また、これら3つのプロジェクトの推進においては、観光全体を下支えする「おもてなし」の視点を総合的に取り入れながら、推進していきます。

① 「餃子の魅力」フル活用プロジェクト

（事業概要）

本市の観光における最大の食資源である餃子については、認知度が9割を超え、全国にも深く浸透していることから、「餃子と他の観光資源を組み合わせた企画商品の開発」、「餃子をイメージした空間演出による新たな観光スポットの創出」、「餃子の映画や人気スポットを活用した餃子ツーリズムの促進」などに取り組み、餃子を積極的に活用しながら「餃子のまち」のさらなる確立を図ります。

【実現するための関連事業】

- ・餃子のさらなるブランド力の向上
- ・新たなツーリズムの創出
- ・メディア等の活用促進
- ・国内外での誘客プロモーション
- ・新幹線沿線都市等との連携
- ・観光事業者への講習会等の開催
- ・市民のおもてなし意識の理解促進
- ・案内表示等の受入環境の向上



② 「大谷の魅力」フル活用プロジェクト

（事業概要）

観光拠点である大谷については、近年、観光客が増加しており、再活性化へ向けた取組を加速するため、『今、ふたたび色づく大谷を、より色鮮やかに』をテーマに、「観る・食べる・遊ぶ・泊まる」といった観光機能の創出、「観光施設の誘導促進に向けた開発許可基準の弾力化」や、「歴史や魅力を伝える専門性の高いガイドの育成・活用」などに取り組み、世界に誇れる観光地域『大谷』への飛躍を図ります。

【関連事業】

- ・観光空間の磨き上げ
- ・魅力あるアクティビティの創造
- ・大谷石文化の活用を通じた観光振興
- ・メディア等の活用促進
- ・国内外での誘客プロモーション
- ・県内市町との連携によるハブ機能の強化
- ・市民のおもてなし意識の理解促進
- ・ボランティアガイドの育成・支援



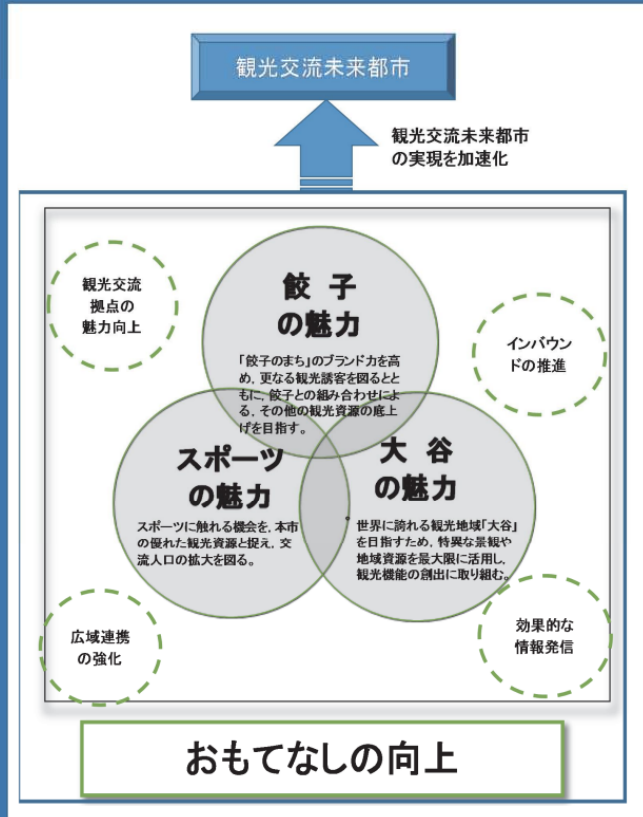
③ 「スポーツの魅力」フル活用プロジェクト

（事業概要）

アジア最高位の自転車ワンデイロードレースである「ジャパンカップ サイクルロードレース」など世界レベルの大会が開催されるほか、本市をホームタウンとするプロスポーツチームが存在するなどの優位性を活かし、「国際大会の更なる魅力向上」や「現在開催しているスポーツイベントのツーリズムへの磨き上げ」、「各種スポーツにおける観戦環境の向上」などに取り組み、多くの人々がスポーツと触れ合う機会を創出することで、さらなる交流人口の拡大を図ります。

【関連事業】

- ・スポーツツーリズムの推進
- ・メディア等の活用促進
- ・MICE等の誘致強化
- ・近隣都市との連携
- ・市民のおもてなし意識の理解促進



第5章 成果指標と推進体制

1 成果指標

- (1) 観光入込客数
2016年 (H28年) 1,483万人
➡2022年 (H34年) 1,550万人
- (2) 宿泊者数
2016年 (H28年) 156万人
➡2022年 (H34年) 163万人
(外国人宿泊者数 8.3万人 ➡ 11万人)
- (3) 来訪満足度
2016年 (H28年) 79.8%
➡2022年 (H34年) 85.0%
- (4) 観光消費額
2016年 (H28年) 872億円
➡2022年 (H34年) 915億円

2 推進体制

(1) 各主体の役割

- ア 市民の役割**
宇都宮の魅力伝えるなどの情報発信に努めます。
- イ 地域の役割**
地域的美観維持や観光客を温かく迎え入れる環境を整えていきます。
- ウ 観光関係団体の役割**
様々な活動を通して、積極的な情報発信に努めます。
- エ 観光事業者の役割**
一人ひとりが観光コンシェルジュとして本市の観光資源を積極的に情報提供するなど、おもてなしの心あふれる接客サービスに努めます。
- オ 行政の役割**
国、県、周辺市町や庁内各部署の動向を把握するとともに連携・調整を図り、各主体が主体的に行う活動への支援を行います。
- カ 宇都宮観光コンベンション協会の役割**
魅力発信、集客促進のための事業を積極的に展開し、観光に関わる様々な主体と連携を図るとともに、効果的・効率的な観光振興のかけ取り役として、本市観光振興のけん引に努めます。

【宇都宮観光コンベンション協会の在り方】

時代潮流に俊敏に対応できる機動力の高い組織へ変革できるよう、関係団体とともに、組織の在り方について検討していきます。

(2) 推進体制

総合計画実施計画や毎年度の予算編成において調整を図るとともに、観光関係団体との連携や他都市の取組状況を踏まえながら、施策・事業に着実に取り組んでいきます。

また、宇都宮観光コンベンション協会や宇都宮商工会議所、観光・宿泊施設、飲食店、交通事業者などの民間事業者などで構成される「(仮称)宇都宮市観光推進委員会」を設置し、各種事業を推進していきます。

宇都宮のブランド発掘・創造・発信プロジェクト



スポーツで魅せる



JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE in UTSUNOMIYA



アジア最高位のワンデイロードレース
ジャパンカップサイクルロードレースの開催

What is "J A P A N CUP" ?

1990年の宇都宮での世界選手権のメモリアルレースとして、四半世紀以上開催、ツールやジロといった世界のトップレースで活躍する選手の真剣勝負を間近で見られる。2010年からは市街地周回コースでのクリテリウムも開催!!

2017 UTSUNOMIYA CYCLO CROSS SERIES



オフロード自転車競技
シクロクロスUCI国際レースの開催

What is "シクロクロス" ?

階段や障害物なども含むコースで開催する自転車オフロード競技で宇都宮では2017年からUCI公認の国際レースを開催中、日本最大の道の駅「ろまんちっく村特設コース」を舞台に世界トップクラスの選手と国内トップ選手が競演!!



3人制バスケットボール
3x3の開催

What is "3x3WT" ?

バスケットボールのクラブ世界一を決める世界大会、元々「3on3」として知られたストリートバスケットをFIBAが承認した公式オリンピック種目競技であり、チーム・選手は世界基準の公式ルールに基づきプレー。宇都宮二荒山神社の参道が試合会場に!!

道路や広場・公園などの既存の都市インフラを活用することで、IF基準を満たす施設がなくても国際大会の誘致・開催が可能となる。なぜ国際大会をホストするのか？

JAPAN CUP
CYCLE ROAD RACE
in **UTSUNOMIYA**



国際大会をホストする力

⇒ 宇都宮のMICE力を推進

3つのプロチームのホームタウン

⇒ 地域活性化のパートナー



長く住めば住むほど 宇都宮の魅力が伝わります。

Wakayama Farm



1. 日本で唯一無二の、丁寧に手入れの行き届いた竹林は、社員の一言に尽きる
2. 若山農場 若竹の杜では竹を使った茶器で野点を楽しめる
3. 映画やCMのロケ地にも選ばれる金明孟宗竹は黄金色の幹が特徴

「宇都宮に住んで、もう13年目になりました」
 (田中泰延) — 餃子もお詳しいですか？
 「餃子は数えるくらいしか食べたことないんです(笑)」
 — 13年間で？！餃子以外の魅力を伝えたいというこの記事にぴったりです(笑)。
 神奈川県のお生まれで、秋田の能代工に行かれた時に初めて他県に引越されたんですか？
 「そうですね、親元離れて。都会と違う部分に魅力を感じましたね」
 — アメリカ生活を経て、宇都宮へ移住されて。宇都宮は都会だし、それで今日お伺いしているような自然もあって、
 「そこが宇都宮の非常に良いところで、都市部から離れると自然もあり、東京にもほどと出やすいですし、バランスがいっぱいって思うんですね」
 — 外でトレーニングもされるわけで、お好きな場所はありますか？

「宇都宮美術館があるんですけど、そのあたりは山の中を走れるんです。自然の中で気持ちいいですね」
 — 僕は今日、こちら「若山農場 若竹の杜」にお伺いして、宇都宮には、こんなところもあるんだなって(僕も初めてです)。びっくりしてます！
 — 竹ってタケノコが土を突き破ってとんとん伸びる。田中さんがいらっしゃる「宇都宮ブルックス」のチーム名には「ブルックス」という意味も込められていると知りました。
 だから竹がとんとんブルックスする場所でお話を伺いたいです。

「街中に住んでいても、自然にあふれた場所ですぐ来れるというのには、宇都宮に住む楽しみの一つです。色々なところを楽しんでもらえたらいいなって思います」
 よく聞かれます。「東京までどのくらいなの？」って。「新幹線なら40分で着いちゃうよ」って教えると「そんな近いんだ！」っていつも言われます。来てくれた人も必ずまた行くね、って言うてくれるので、それが嬉しいです」
 — 住み続けたいですか、宇都宮？
 「長く住めば住むほど、応援してくれる方がたくさんいてくださって、どこへ行っても声かけていたいで、本当にみんな気さくで。食堂行ったら、おばちゃんが良い声かけてたりとか。食事もおいしいものたくさんありますし、自然もたくさんあって住むのを楽しむことができます」

「そういう魅力が伝えられたらいいな、って思います」
 — 宇都宮は、餃子以外にも、ブルスポーツのまち宇都宮とも言われていますね。
 「サッカー、バスケット、自転車もあります。他にも栃木県全体で見てもアイスホッケーや野球など...」
 そんなにブルスポーツが存在する場所ってなかなかないと思います！
 — すてい密度ですね。
 「子供たちも色んなスポーツに興味を持ってもらえるチャンスが広がる街ですね」
 — アメリカでNBAにいらしたとき、地域の子どもとチームの関りみたいなのって、参考点がありましたか？
 「ありましたね」
 例えば、病院を訪問したりとか、チャリティ活動が当たり前のようになっているので、非常に勉強になりましたね」

「宇都宮は、餃子以外にも、ブルスポーツのまち宇都宮とも言われていますね。」



Yuta Tabuse
田臥 勇太
Pro basketball player | Utunomiya Brex

2020/3
Vol. 33

都市と ガバナンス

● 巻頭論文 自治体議会の災害対応—役割期待と限界—
明治大学名誉教授 研究特別教授 中邨 章

● シリーズ 新たな公共私の連携
～スポーツを通じたまちづくり～

● テーマ 都市連合組織のシンクタンク機能

宇都宮 × スポーツ
詳しくはこちらをご覧ください。

公益財団法人 日本都市センター

新たな公共私の連携～スポーツを通じたまちづくり～

シリーズ 新たな公共私の連携～スポーツを通じたまちづくり～

スポーツを通じた 都市の魅力創造

宇都宮市経済部都市魅力創造課課長補佐 黒崎 泰広

国の第2期スポーツ基本計画は、地域の特長や現場のニーズに応じたスポーツ施策の主体的な実施とスポーツを通じた活力ある社会づくりを自治体に期待する。こうした中、宇都宮市ではスポーツを都市の魅力づくりに向けた地域資源と捉え、国際大会の誘致・開催やホームタウンプロスポーツクラブとの協働によるまちづくりに取り組んでいる。本稿では、既存の都市インフラを活用した「サイクルロードレース」・「3人制バスケットボール」の国際大会の誘致・開催や地域密着型のプロスポーツクラブのホームタウンとしての広範な行政分野におけるクラブとの協働など、本市の独自性の高い取組とこれらの事業推進体制について説明する。

はじめに

宇都宮で世界チャンピオンが誕生した。2019年11月、世界100ヶ国以上に動画配信され、およそ1,300万人が観たそのスポーツイベントは、国際バスケットボール連盟（以下「FIBA」という。）が「ストリートからオリンピックへ」を掲げ、2020東京オリンピックでデビューを飾る、3人制バスケットボール「3x3（スリー・エックス・スリー）」のクラブチーム世界一決定戦「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final 2019」である。

宇都宮の地で国際競技団体（International Sports Federation）（以下「IF」という。）の主催人会で世界チャンピオンが誕生したのは、1990年にアジアで初めて開催した自転車ロードレースの「世界選手権自転車競技大

会」をホストして以来、29年ぶりのことである。

この四半世紀を超える間に、スポーツが射程とする政策領域は拡大の一途をたどった。「健康増進」や「共生社会の実現」、「経済・地域の活性化」など、スポーツが有する多面的な機能は、社会の変革や未来の創造への活用まで期待されており、本市の「スポーツへの期待」もまた同様である。

こうした中、広範なスポーツ政策の領域の中から、「何を」「誰が」「どのように」やるのかの選択は、各地の裁量が大きく地域の創意工夫も発揮されやすい。本稿では、こうしたスポーツ政策のうち、宇都宮の地域特色を色濃く反映した「国際スポーツ大会（以下「国際大会」という。）」と「3つの地域密着型ホー

宇都宮のブランド発掘・創造・発信プロジェクト



石の里「大谷」で魅せる



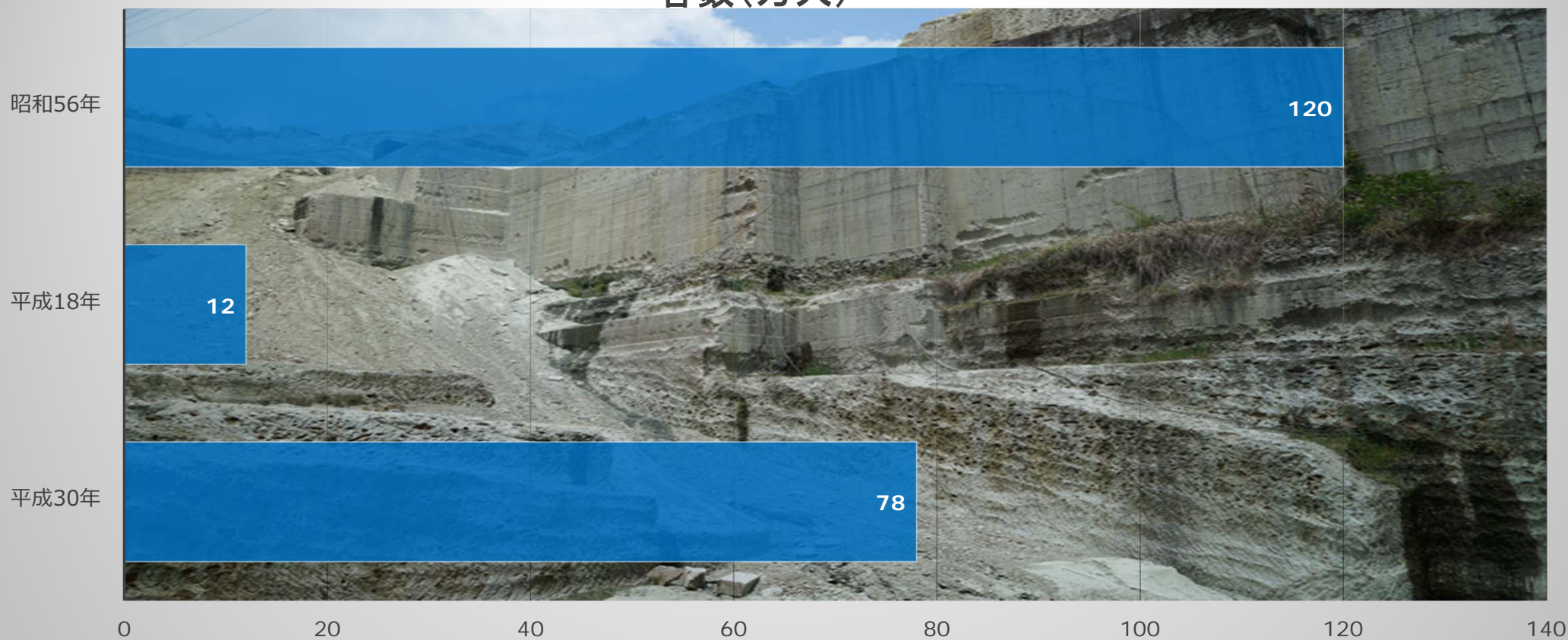
大谷には特別な風景がある



大谷には特別な風景がある

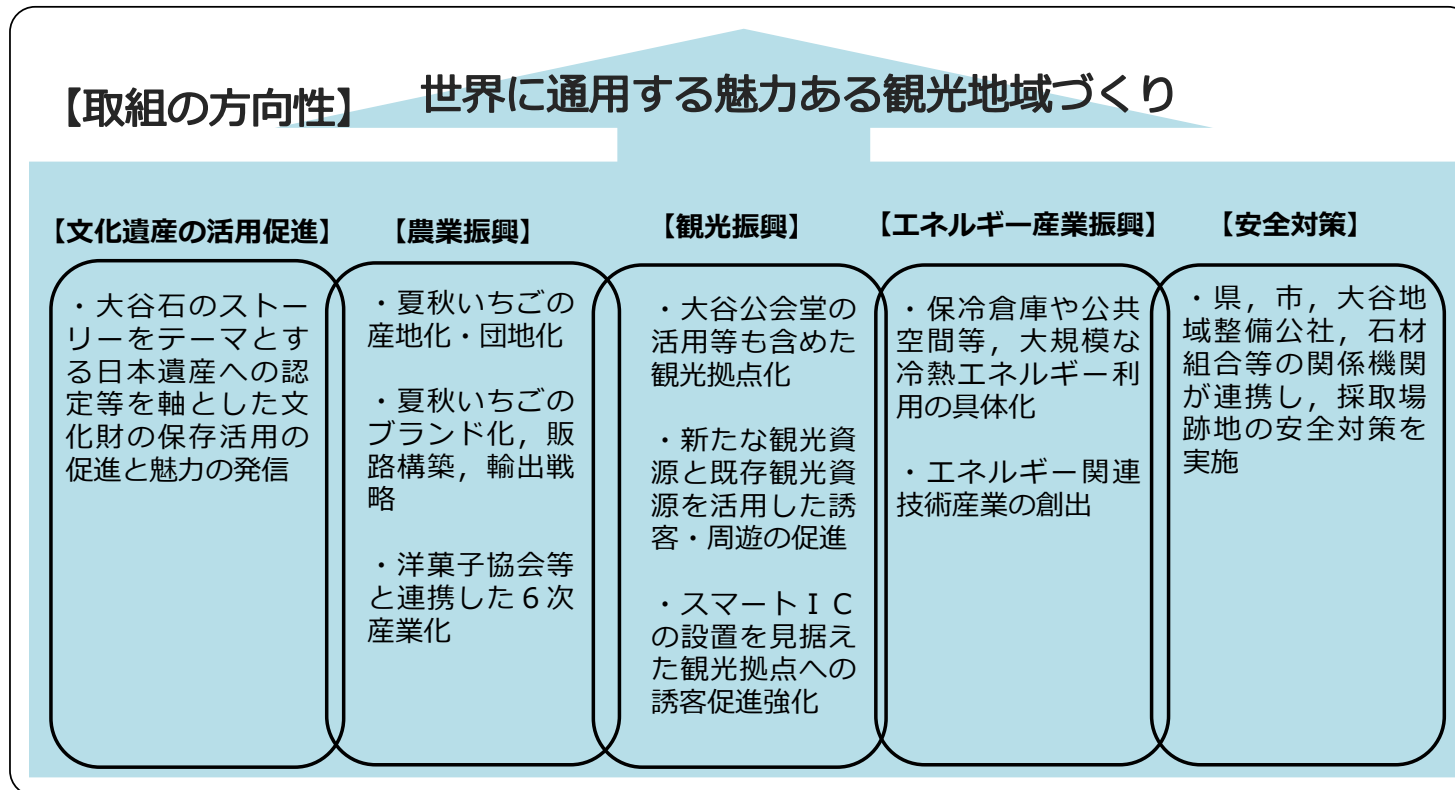
大谷地区入込客数推移（概数）

客数(万人)



H28年度から地方創生推進事業に着手

「石の里大谷エリアの地域資源を活用した地域創生事業」



大谷石採取場跡地

⇒ 地域固有の特異な資源

採取場跡地，耕作放棄地等の増加

⇒ 豊富な低未利用資源

**地域固有の特異な資源等を有効に活用した
事業と雇用の創出による地域（観光）振興の可能性**

特異な地域資源を体験型観光に活用！！

～地底湖クルーズ～

大谷石産業の衰退とともに、採取場跡地内の多くに水が貯留・・・

貯留されている空間を「**地底湖**」と捉えてみよう・・・

➡H24.4より、県内の4企業と連携し、体験型観光事業を検討・調査

➡現在、民間事業者が主体となり地底湖クルーズツアーを実施

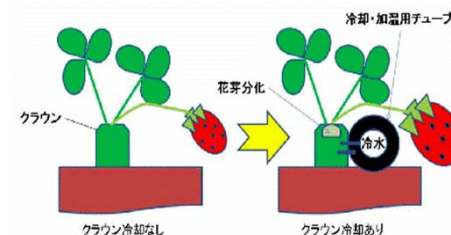


特異な地域資源を農業に活用！！

～大谷夏いちご～

採取場跡地内に貯留されている水が年間を通して冷たい・・・

「冷熱エネルギー」と捉え、大谷らしい事業の具体化が出来ないか・・・



【参考】クラウン冷却システム

➡H25年度 大谷夏いちご研究会を組織

・貯留水を利用したクラウン冷却システムによる夏秋いちご栽培実証実験に着手

〔宇都宮大学等と連携〕

➡H26年度 夏秋いちご栽培への冷熱エネルギー利用の可能性を確認

➡H27年度 民間事業者の参入開始。H28年度にも新規参入有り

➡H28年度 計20㍍の栽培面積へ拡大，周年型いちご栽培の地域へ

➡R02年度 計70.5㍍に更に拡大中



耕作放棄地全景(H27年末)



新規参入



いちごハウス全景(H28年4月)



大谷夏いちご

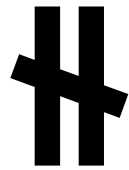


ハウス内全景

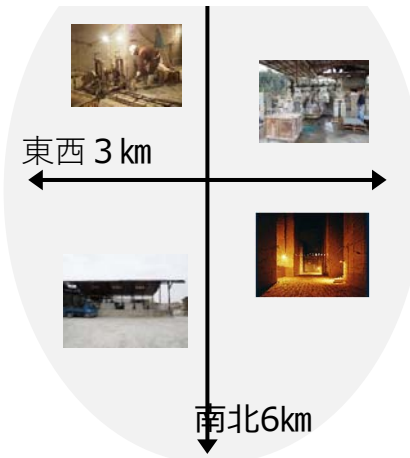


宇都宮市「大谷町」のイメージ（これまで）

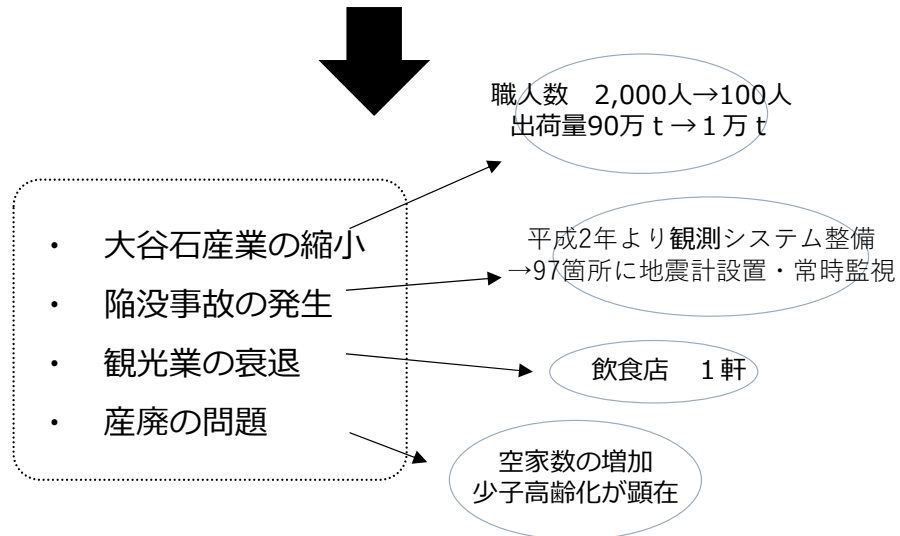
大谷地区 = 石の里（観光の拠点）



↑
2 4 7 箇所の大谷石採取場が点在



↑
地域全体が「負の遺産」化



【平成23年～】 現況を活かした 変化 の検討・実験／可能性の見える化

- ・ 約250箇所の地下空間があり、現在も産業が生き続け、約2,000人が住み続ける地域
このエネルギーを源にした、持続的（地域ならではの）振興が出来ないか・・・。

まず、

1 / 250 箇所に尖った光をつくる

◎地域振興で抑えた視点

- ・ 初めから面をつくるのは困難
- ・ 関係者が多い=共有化が困難

=地域性が消えやすい

狙い：「地域イメージの変化」
ターゲット：住民, 市民, 行政

狙い：「ブランドの徹底構築」
ターゲット：来訪者

第1ステップ

- ・ TRY&ERROR
- ※ 興味のありそうな事業者と持ち寄り

第2ステップ

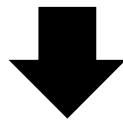
- ・ CHALLENGE
- ※ 事業化を見据え、関係者を選択

第3ステップ

- ・ BUILD & RELEASE
- ※ 継続体制の選択, 広報の選択



【平成25】「地底湖クルーズ」を事業化



次に、

100 / 250 箇所を考える

◎地域振興で抑えた視点

- ・ 持続的振興のためには「面振興」が必須
- ・ 「地域課題」は地域を変化させる即効薬

狙い：「事業性の共有化」
ターゲット：住民, 市民, 行政, 企業

第1ステップ

- ・ 面にする事業・手法の調査
- ※ 委託業務で成果を明確化(予算化しやすい)

第2ステップ

- ・ 可能性のある事業を実証実験
- ※ 実証実験は1~2年は手が出しやすい

第3ステップ

- ・ 事業化の支援(事業の種まき)
- ※ 独自性の高い産業は支援しやすい



【平成27】大谷夏いちご栽培を事業化

これからの「大谷町」 / 【平成30年～】 地域全体の振興推進

【平成30年】

- 市の立ち位置の明確化：「大谷地域振興方針」を策定（※概ね10年後を目指した計画）



◇飲食店等の立地誘導

- 開発許可基準の緩和+補助制度の充実(表)
 - 空家マッチング, 開発許可手続きの支援(裏)
- 実績：H23 1軒 → 現11軒

◇体験型コンテンツの充実

- R2年「虫の目・チカノコエ展」(in大谷資料館)
- R3年「UNDERGROUND MUSEUM」(in戸室山)

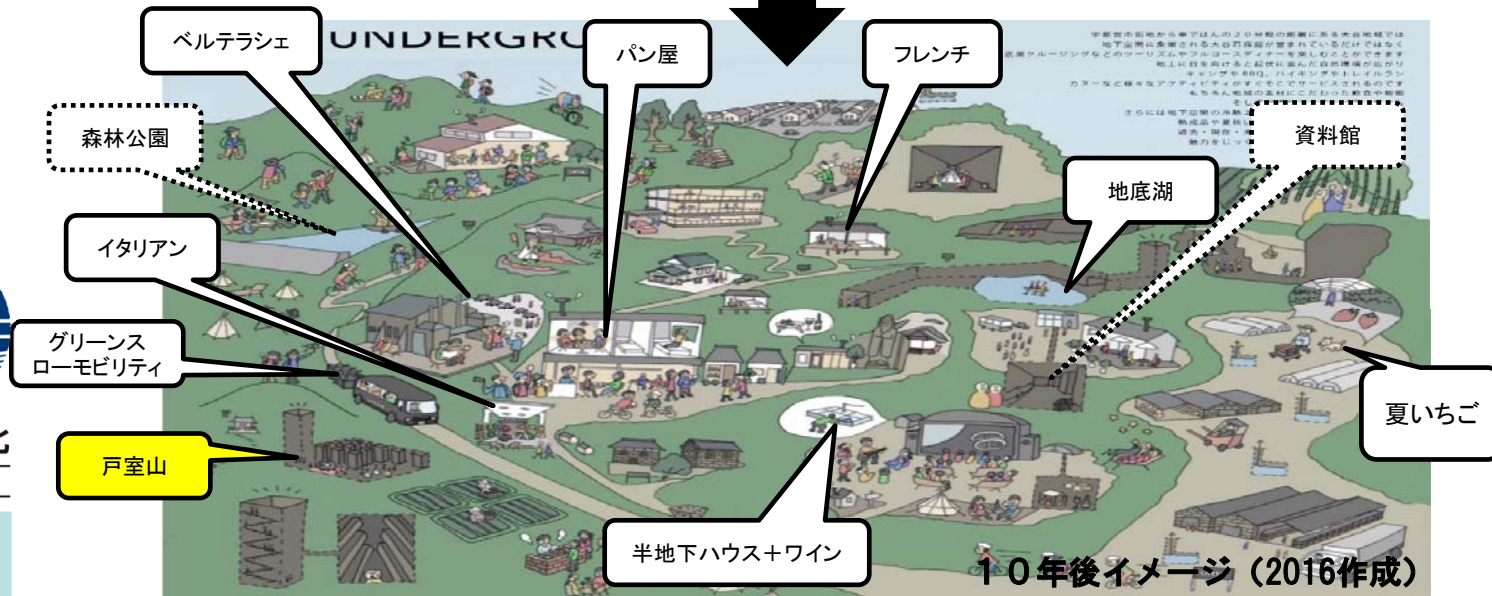


◇交通環境の向上(R元年～)

- 道路環境等の改良に着手(ハード)
 - グリーンスローモビリティの実装化(ソフト)
- R元年～ 実証実験, R5年～ 実装予定

◇大谷夏いちごの産地化

- 冷熱エネルギー供給会社の組成
 - 農地の再整備, あっせん, 販路開拓
- 実績：現 4社 → R4～ 6社



日本遺産



大谷石文化
宇都宮

平成30年5月認定

宇都宮のブランド発掘・創造・発信プロジェクト



魅せるための仕組み
(行政組織の整え方)

都市魅力創造に向けた基本的な考え方

◎ 100年後の都市の繁栄を支える、宇都宮ブランド（都市魅力）の創造

◆ 使命は、交流人口増加 & 消費額増加を通じた地域経済の活性化

- ⇒ 各種の地域資源（行政資源を含む）を活用・支援しながら、民間の投資を促す取り組みに注力
- ⇒ 行政は、民が輝くための土壌づくりを担う（主役は民、行政はサポート）

◆ 東京五輪開催（2020年）をターゲットに、スポーツ・文化に係る資源を中心に磨きあげ

- ⇒ 有形・無形のオリンピックレガシーの創出に向けた取組に着手

平成26年度取組について

- 宇都宮版オリンピックレガシー（遺産）の創出に向けた検討に着手
- ⇒ 具体的には、東京五輪開催前後に本市が取り組むべき事項の洗い出し及び選定
- ⇒ 話題性、継続性、発展性、国際性等を主眼に五輪開催前後の宇都宮の姿を官民で共有
- ※ 本検討を進めるなかで、新たな魅力の発掘等も行い、連動した取組を図る

時限組織の課内室をスタートアップ的に活用しながら体制を拡充

総合計画の体系に沿った組織への再編を実施

教育委員会から移管
自転車国際大会 (JCUP)

経済部 観光交流課
餃子・ジャズ・カクテル
道の駅等の観光施設運営
観光コンベンション協会

経済部 観光交流課
餃子・ジャズ・カクテル
道の駅等の観光施設運営
観光コンベンション協会

総合政策部から移管
プロスポーツの支援・連携
東京五輪ホストタウン関連業務

都市魅力創造室 (課内室)
新たなコンテンツの探索
インバウンド事業の着手

都市魅力創造課に拡大
プロスポーツの振興
国際大会の誘致・開催

経済部 産業政策課から移管 (都市計画課・文化課職員の兼務)
大谷石産業の振興

大谷振興室 (課内室)
大谷の観光拠点化促進
日本遺産関連業務

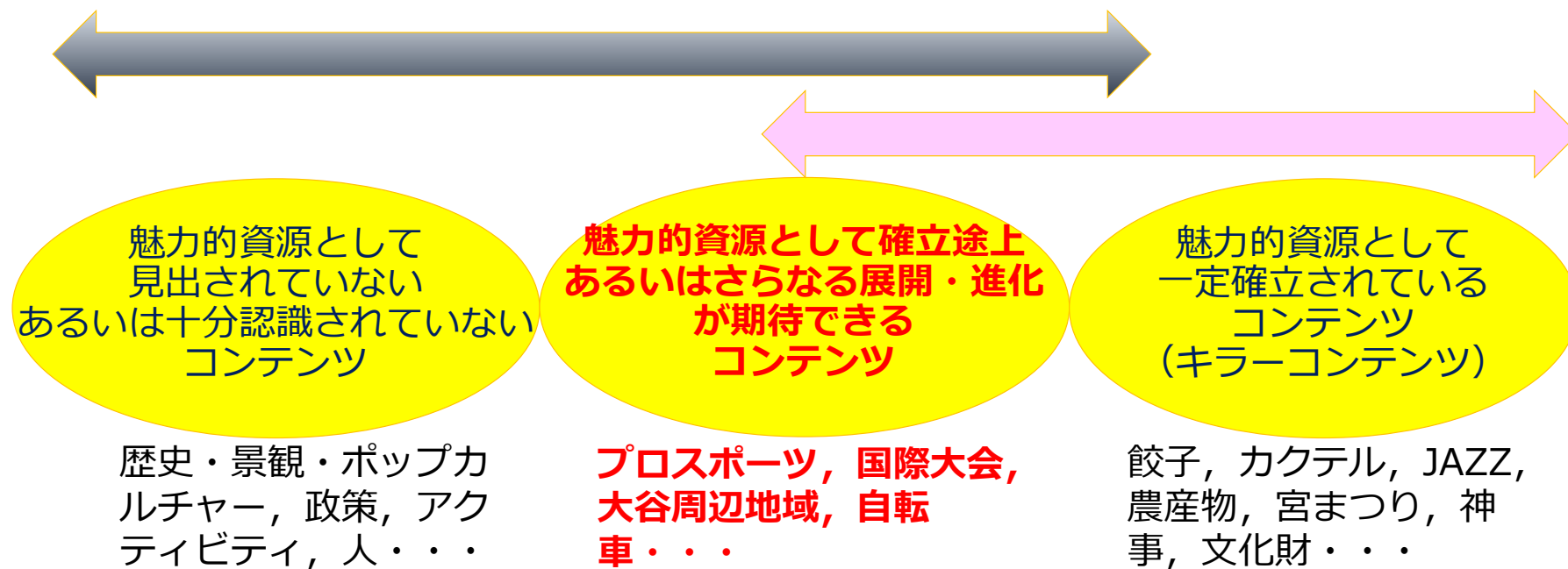
コンテンツ集約

対象の選定

磨き上げ

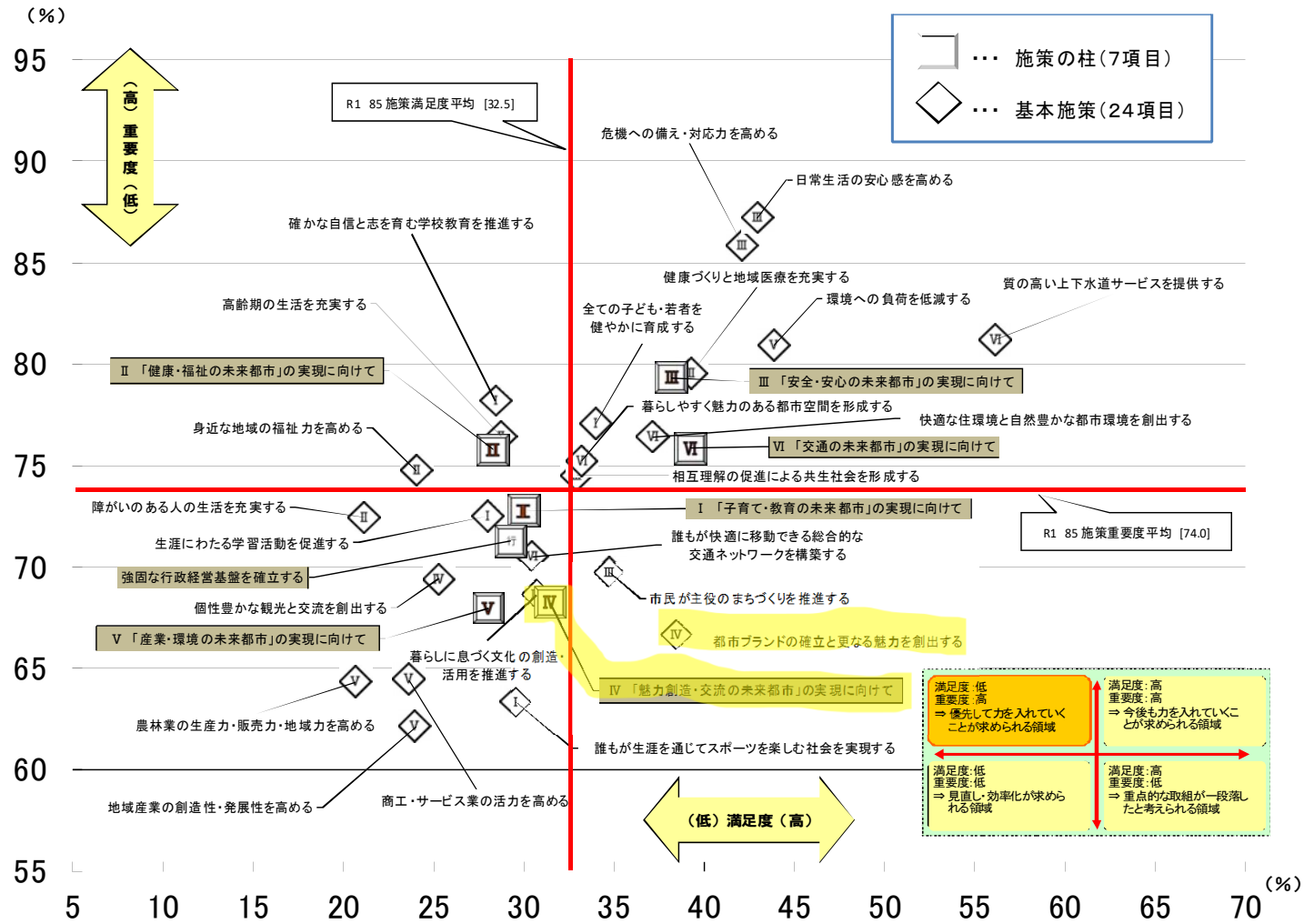
H29年度新設 都市魅力創造課の使命とは？

本市の魅力となりうる（とまっている）コンテンツの**発掘・創出・磨き上げ**を行い、シビックプライドの醸成，シティブランドの向上を図るとともに，観光振興での活用へとつなげること



【参考】

令和元年度 施策の柱・基本施策 重要度と満足度(市民意識調査より)

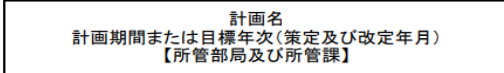


他部門と比較し、行政計画の策定が薄い状況

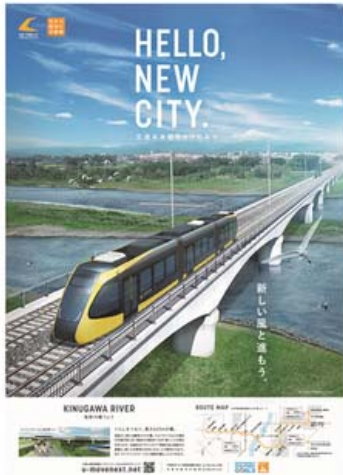
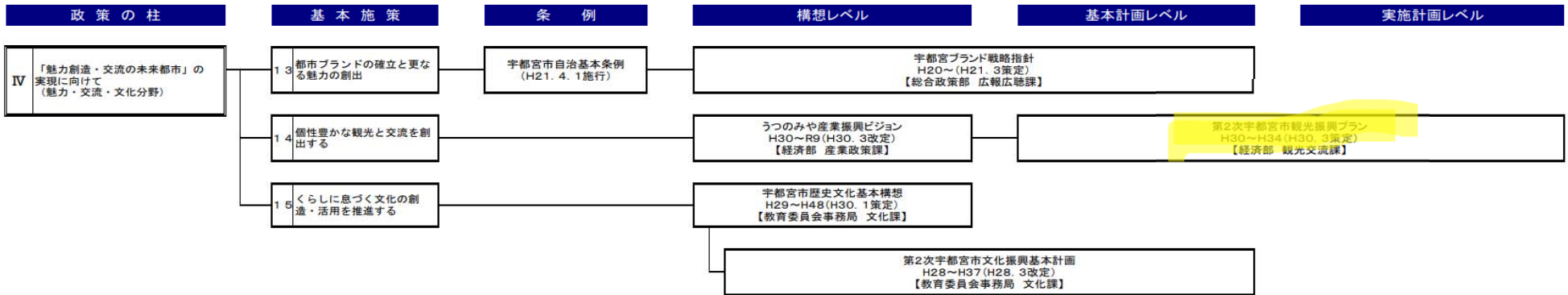
現在、体系的な取組の強化に向けて「スポーツ都市戦略」・「MICE戦略」を策定中

■各部門における個別計画の策定状況一覧【総合計画体系図】(令和2年4月現在)

○凡例

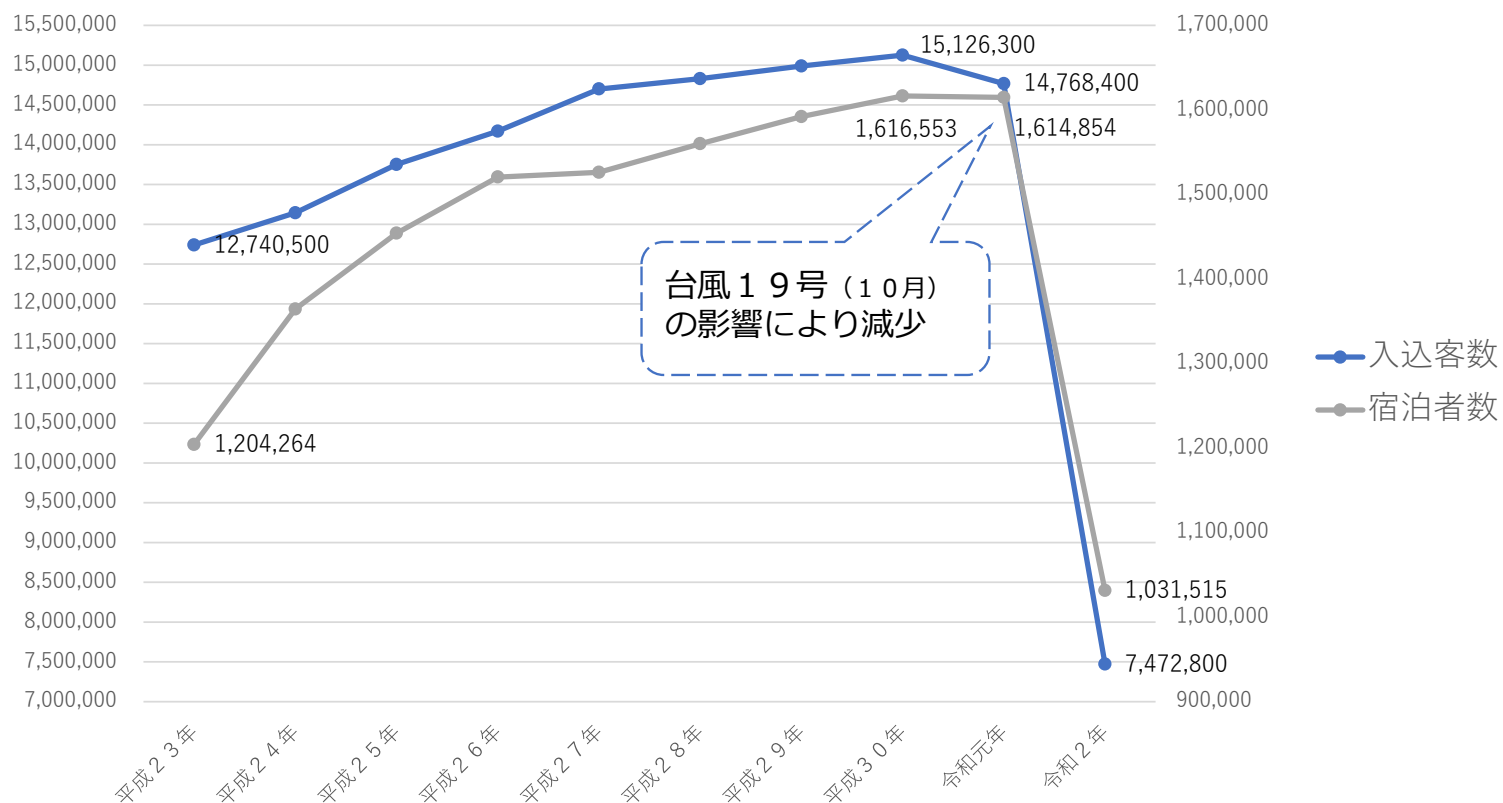


○破線囲みについては一覽作成時点で改定中又は策定中のもの



宇都宮市観光入込客数・宿泊者数推移

(令和2年宇都宮市観光動態調査より)



**ピンチをチャンスに!! V字回復に向けて
KEEP ON FIGHTING**



プレミアム観光クーポン 宇都宮 50%お得!

(一例)一口15,000円分を
10,000円で販売します。
※予定額に達し次第、販売終了します。



【周遊券】

2021年11月12日（金）～2022年2月28日（月）

【宿泊割引付き周遊クーポン】

2021年11月12日（金）～2022年2月28日（月）

ご清聴ありがとうございました。